



社協だより

98号

平成17年6月1日
発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会
〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

平成17年度宗像市社会福祉協議会(社協) 事業計画・予算決まる

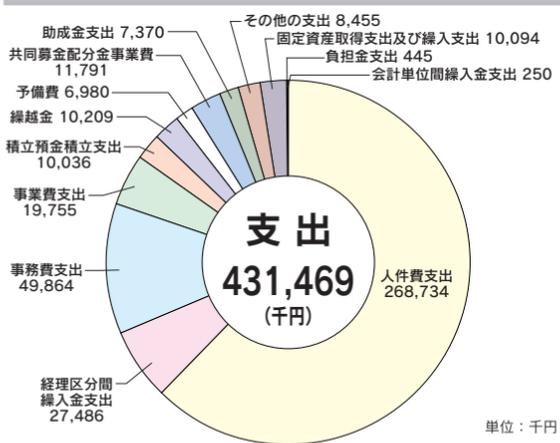
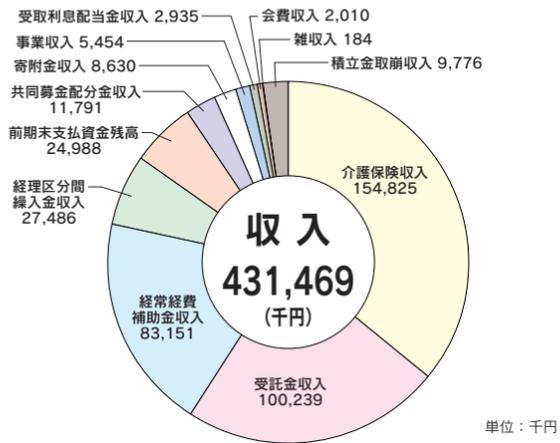
本会の中期行動計画(平成17年度～21年度)である「第2次地域福祉活動計画」にもつき、宗像市の地域福祉活動のさらなる充実に向けて、事業を展開します。その初年度となる平成17年度の重点目標とおもな実施事業計画、予算を紹介いたします。

重点目標

- 第2次地域福祉活動計画にもつき、事業の実施
 - 大島地区における地域福祉活動の充実
- 小地域福祉活動の推進
 - ボランティア活動の推進
 - 及びボランティアセンターの充実
- 介護保険事業、支援費事業等の効率的な経営
 - 受託事業の適切な運営
- 第2次地域福祉活動計画にもつき、宗像市の地域福祉活動のさらなる充実に向けて、事業を展開します。その初年度となる平成17年度の重点目標とおもな実施事業計画、予算を紹介いたします。
- 促進及びV-netの効果的運用
 - 福祉教育の推進
 - (新)福祉教育推進計画の策定
 - (新)福祉教育セミナーの開催
 - 福祉教育推進指定校事業
 - 福祉教育推進指定校事業など
- 活動財源の確保
 - 社協会員制度の推進
 - チャリティーポウリング大会の実施など
 - 受託事業の適切な運営と充実
 - 子ども療育支援センターの開催
- 認定調査事業の効率的実施
 - 居宅介護支援サービス計画の作成
 - 訪問介護事業の運営
 - 自立支援のための訪問介護事業の実施
 - 資質向上のための研修会の開催
- 居宅介護支援センターの運営
 - 認定調査事業の効率的実施
 - 居宅介護支援サービス計画の作成
- 訪問介護事業の運営
 - 自立支援のための訪問介護事業の実施
 - 資質向上のための研修会の開催

予算総額4億3146万円

- 第2次地域福祉活動計画にもつき、事業の実施
 - 福祉の里づくり事業の推進
 - と小地域福祉活動の推進
 - と活動の充実
 - (新)地域ボランティア養成講座の実施
 - 大島地区福祉活動の推進
- 地区福祉の組織再編成・整備の促進
 - 地域福祉・在宅福祉の推進



市民とともに創造する 福祉の里づくりプラン(1)

3月29日、理事会・評議員会にて第2次地域福祉活動計画(以下「第2次計画」)が承認されました。第2次計画は、平成17年度を初年度として実施します。この第2次計画は、序章・基本構想・基本計画・実施計画・資料で構成されています。第2次計画を実施するにあたり、市民のみなさんのご理解とご支援が不可欠になりますので、計画のダイジェストを連載します。

社会福祉協議会の 基本的な活動方針

第2次計画を策定するにあたり、第1次地域福祉活動計画(平成8年1月策定、以下「第1次計画」)策定以後の地域福祉をめぐって国や全国社会福祉協議会、および宗像市の動向、また第1次計画の進捗状況を綿密に検証しました。その結果、第1次計画策定当時に比べて、ノーマライゼーションの理念(障害のある人もない人も、地域に住むあらゆる人が、ごく普通の生活を営むことができ、かつ差別されない社会をつくるという基本的理念)が社会福祉法に反映されていること。また、地域福祉が個人の尊厳と自己決定を尊重することにより、今以上に強く「地域での生活」と「地域での生活の質」が重視されるようになったこと。さらに、地域福祉の担い手として地域住民が明確に規定されたこと。これらが今後地域福祉の推進に強く影響するものと考えています。

- 住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進
- 住民自治活動としての地域福祉の推進
- 共生のための福祉教育の推進
- 協働の場づくりのための連絡調整機能の強化
- 利用者本位の福祉サービス供給体制の強化
- 行政および地域福祉推進団体などのパートナーとしての社会福祉協議会の確立
- 法人経営体制の強化

めざすべき地域社会像

第1次計画で「めざすべき地域社会像」として考えられた福祉の里づくりは、第2次計画に継承されました。「福祉の里」とは次のような地域社会を想定しています。

- 地域住民がお互いにお隣りさんの顔が見える人と人とのふれあいのある地域
- 自分の住んでいる地域の福祉問題を、その人だけの問題にしないで、みんなの問題として解決を考え、隣人としてできる助け合いが日常的に行われている地域
- 援助を必要とする人すべてが、いつも誰かが温かい眼差しで見守っていてくれて、安心感を感じられる地域
- 幼児から高齢者までそれぞれの世代にできる福祉活動が行われる地域、ハンディキャップがある人もない人も、共に生きがいを共有できる地域

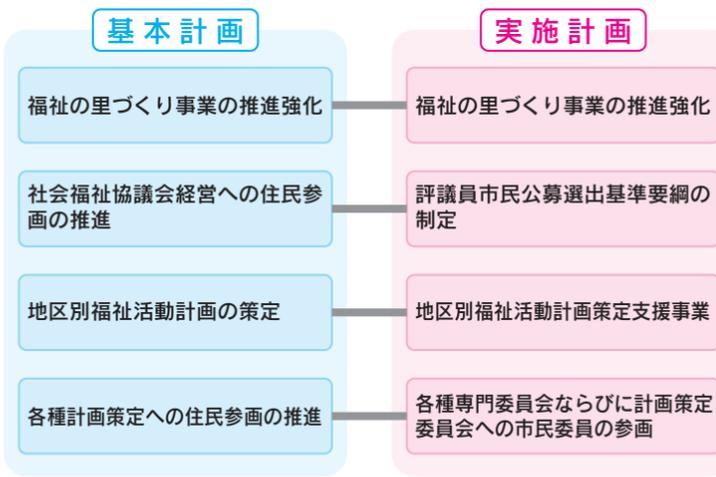
市民策定委員を募集します 福祉教育推進計画に市民の提言を!

本会では「福祉教育推進計画」を策定します。計画は、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる福祉教育、地域・学校・家族が実践できる福祉教育を目標にしています。市民の立場から、また、地域や家族の立場からの意見を計画に活かすため、一般公募による委員を次のとおり募集します。

- 委員会の開催頻度
平成17年7月から平成18年3月までの間で月1回2時間程度
- 募集 1人(書類選考による)
- 対 市内に住所を有する人で福祉教育に関心のある人
- 締 6月20日(月)
- 申 ①郵便番号②住所③名まえ④年齢⑤性別⑥電話番号を明記したものと⑦「地域における福祉教育」をテーマにあなたの考えを800字程度で書いたものを宗像市社会福祉協議会「福祉教育推進計画策定委員募集担当」(〒811・3437/宗像市久原180)へ郵送
- 問 同協議会 ☎ (37) 1300

基本構想

住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進



ホームページを開設しました

5月1日、ホームページを開設しました。ホームページでは各部室や事業を紹介しています。また「社協だより」のバックナンバーや第2次地域福祉活動計画の閲覧、宗像市ボランティアネットワークシステムV-netむなかたへ簡単にアクセスすることもできます。ぜひ一度ご覧ください。

こんにちは、 社協大島支所です



宗像市大島福祉センター
(ふれ愛センター)

宗像市・大島村の合併により、旧大島村社会福祉協議会は、宗像市社会福祉協議会に編入合併され、解散しました。合併にともない新たに社協の大島支所が設置され、本所(メイトム宗像/宗像市久原180)に行かなくても社協サービスの利用手続きができるようになりました。

大島支所で、利用手続きができる主なサービスや事業は次のとおりです。

- 鍼灸治療補助の申し込み(60歳以上の社会保険加入者のみ)
- 介護支援ベッドの貸し出し
- 車いすの貸し出し
- 社協会員の申し込み
- ボランティア保険の申し込み
- 福祉ボランティアの登録、利用
- 香典返し、一般寄付、物品寄付などの受付
- 大島地区ミニデイサービス(生きがい活動通所支援事業)
- 受診等送迎サービス(軽度生活援助事業)

また、介護支援専門員(ケアマネージャー)やホームヘルパーを配置し、ケアプランの作成や訪問介護事業

●介護保険制度以外の家事援助サービス

なども行っています。

支所では、地域に密着した心の通いあうサービスを目指しています。

宗像市大島福祉センター (ふれ愛センター)

渡船ターミナルから徒歩5分のところに位置し、和室・会議室・調理室(有料)があります。施設の利用については大島支所へ直接お問い合わせください。

時 午前8時30分～午後10時
休 土・日曜日、祝日、年末年始

問 宗像市社会福祉協議会大島支所 ☎(72) 2294

大島地区福祉委員会

平成17年2月7日、大島村福祉会(板矢英之会長)が発会しました。

福祉会活動紹介

宅老所を見学！

須恵区福祉会の施設視察研修

認知症(痴呆)になっても、住み慣れた地域で、なじみの関係や近隣とのつながりを切り離すことなく暮らしたい。そんな思いから出発した宅老所が、社会的に大きく注目を集めています。

春陽きらめく4月26日、福岡市南区の第2宅老所「よりあい」(村瀬孝生施設長に河東地区の須恵区福祉会が施設見学に行きました。参加者は、ひとり暮らし高齢者を含め33人でした。

「よりあい」は、民家を改良した家庭的な雰囲気の宅老所で、通いや泊まり、居住などのさまざまなニーズに対応した、いわゆる小規模多機能の施設です。認知症であっても毎日楽しく過ごす利用者の姿がありました。

合併後は、名称を大島地区福祉会に改め、全島民参加による、きめの細かい小地域での福祉活動を目指しています。

市内他の福祉会では行っていない福祉祭壇の貸し出しなどの葬祭事業を行っています。

今後は、地域に必要な福祉活動について検討し、大島の地域特性を活かした事業を行っていきます。

施設長の講話を聞いて

宅老所の中でのさまざまな人間的な出来事やエピソードを聞き、参加者は口々に「通いながら自然と仲間ができて、そこで泊まった住むことが無理なくできるようになる。地域に密着している意味がわかりました。すばらしい実践をしていますね」と感想を漏らしていました。高齢者の言葉や姿に学び、利用者とも成長してきたと語る若い施設長をはじめ、職員の方々の貢献にとても好感をもつて帰ってきました。



施設長の話を聞く参加者

ボランティアセンター通信

宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会 20周年記念行事開催

宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会(藤井千賀子会長)は、昭和60年に発会し、今年で20年の節目を迎えます。

現在協議会に所属するグループは20団体で、今日までさまざまなボランティア活動への協力、ボランティアの育成など地域福祉の推進に大きく貢献してきました。

今回の記念行事は、各グループによる人形劇や朗読劇、手話コーラス、ペットボトルボーリング大会などの催しを行います。

「ボラ連つてなんだろう?」と興味をお持ちのみなさん、ぜひ遊びに来てください。

日 7月9日(土) 午前10時30分～午後2時
場 メイトム宗像・多目的ホール



もやもや吹き飛びます

おしゃべりサロン開催中

「ボランティアアドバイザー相談日」新企画

毎週水曜日午後1時からボランティアセンターで実施中の「ボランティア相談日」では、毎月1回「おしゃべりサロン」を設けています。サロンの日は、ボランティアや数人など

問同センター

地域福祉文庫講演会

～本の楽しさ届けたい～

子どものころから本に親しむことは、とても大切です。子どもの読書離れが心配されている昨今、子どもに本の素晴らしさを気付かせたい、本から得られる人生体験を味わって欲しいと社協と地域福祉文庫では、「本の楽しさ届けたい」をテーマに、文庫講演会を開催します。

今回は、読書ボランティア「絵本の楽しさおとどけ便」所属の松尾有子さんが、楽しい本の世界をいろいろな本やストーリーテリング(素話)で紹介いたします。

子どもにいろいろな本を読ませたいと考えているお父さん、お母さん、本の大切さに触れたい人、ゆっくり話を聞いてみませんか。

日 6月27日(月) 午前10時30分～正午
受 午前10時
場 メイトム宗像・202会議室
講 松尾有子さん(「絵本の楽しさおとどけ便」所属)
定 80人
料 無料
締 6月20日(月)
☎ 託児を行います(8ヵ月以上・1人400円)
申 同協議会 ☎(37) 1300

寄付
ありがとうございます
ついでに

(平成17年5月1日受付分迄)

- 【香典返し】(敬称略)**
- 永野稔幸 (池田)
 - 石松和一郎 (吉留)
 - 立石和恵 (武丸)
 - 阿部徹 (大谷)
 - 故 吉田恵輔 (村山田)
- 【一般寄付】(敬称略)**
- 宗像市衛生組合連合会
 - 税理士宗友会
 - 大島村身体障害者福祉協会
 - ひまわりダンスサークル
- 訂正とお詫び**
- 4月1日号の当欄で誤りがありましたので、訂正してお詫びします。
- (誤) 故 佐藤満里子 朝野
(正) 佐藤満里子(朝野)

- 人のアドバイザーも集まり、午後5時30分～午後5時
- おしゃべりサロン開催中
- 「ボランティアアドバイザー相談日」新企画
- 毎週水曜日午後1時からボランティアセンターで実施中の「ボランティア相談日」では、毎月1回「おしゃべりサロン」を設けています。サロンの日は、ボランティアや数人など
- 問同センター
- おしゃべりサロン
- 毎月1回「ボランティア相談日」に開催(日には同センターに問い合わせください)
- 【ボランティア相談日】
- 毎週水曜日
午後1時～午後4時
問同センター
- 平成16年度 旧大島村社協寄付分
- 佐伯紘一 (自由ヶ丘)
 - 故 浦川恒一 (稲元)
 - 故 脇野茂 (田熊)
 - 故 石坂トミ (三郎丸)
 - 故 江藤トヨ (鐘崎)
 - 力丸サダ子 (田島)
 - 安部恒明 (吉留)
 - 坂下有功 (鐘崎)
 - 本田和徳 (野坂)
 - 有田晴子 (日の里)
 - 故 水上清見 (日の里)
 - 山本孝喜 (三郎丸)
 - 故 井上晃(ひかりヶ丘) (三郎丸)
 - 末永正子 (三郎丸)
 - 小林澄男 (鐘崎)
 - 故 原田美代(自由ヶ丘) (自由ヶ丘)
 - 故 山川まりえ(日の里) (大井)
 - 故 吉田繁 (三郎丸)
 - 厚美穂 (三郎丸)
 - 吉田竜也 (鐘崎)
 - 吉田幸一郎 (日の里)
 - 吉武清己 (久原)
 - 故 辻野平 (江口)
 - 山本善清 (三郎丸)
 - 高向敏治 (上八)
 - 故 重廣一 (日の里)
 - 故 末松美佐子 (土穴)
 - 力丸睦子 (田島)
 - 盛永清之 (城西ヶ丘)
 - 石田モモエ (王丸)
 - 古江ミチ子 (三郎丸)
 - 森田美津子 (土穴)
 - 故 古藤末生 (須恵)
 - 磯部俊文 (神湊)
 - 丹生敏明 (北九州市)
 - 森由美子 (朝町)
 - 故 白木孝治 (武丸)
 - 故 廣田安喜 (上八)
 - 故 寺尾憲太郎 (池田)
 - 橋元スエ子 (鐘崎)
 - 木村和代 (城西ヶ丘)
 - 中西一子 (三郎丸)
 - 大嶋重則 (三倉)